

# 令和8年第1回定例会(3月議会)の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和8年3月議会は、2月17日から3月18日の30日間開催されました。令和8年度一般会計予算等の予算議案19件、条例議案16件、人事案件9件、その他議案5件、報告案件4件の計53件が上程され、全ての議案を原案どおり可決しました。

# 令和8年3月議会一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

## 1. 城北中3年生からの政策提言

- ①COME☆HERE中津
- ②特産物フェスによる中津革命
- ③わんぱくウォークラリー

## 2. 今後の給食費はどうなる

- ①小学生の無償化の内容と国・地方の財政負担は、
- ②園児や中学生の無償化に向けた国の方向性は、
- ③今後の給食費はどうなる
- ④すべての子どもの給食費を無償に

## 3. 地域の気候風土に適した伝統的木造住宅のすすめ

- ①気候風土適応住宅の特長と基準は、 ②普及啓発活動
- ③基準に適合した公共施設の建築
- ④補助制度の創設 ⑤職人の育成に向けて



[一般質問議事録QRコード](#)



# 令和8年3月定例議会で決まったこと。【抜粋】

## 1. 令和7年度一般会計補正予算(第5・6・7号)

補正額 2億6648万円(補正後予算額499億7494万円)

《新規・拡充事業（抜粋）》

### □地方バス路線維持事業；814万円

- ・ 人件費、運行経費の増により大交北部バス及び玖珠観光バスの赤字額が当初見込みより増加したことによる措置
- ・ 補正後予算額；7704万円



大交北部バス(やまびこ号)

## □物価高騰対策緊急支援事業（社会福祉施設）

；1904万円（内国庫補助金1904万円）

- 物価高騰の影響を受ける各社会福祉施設に対して、物価高騰相当額を支援する。
- 対象施設；障がい者福祉施設、高齢者福祉施設、放課後児童クラブ、子育て支援施設、こども食堂、保育施設等

## □地籍調査事業；4473万円

（内県補助金3150万円）

- 本耶馬溪町東谷地区、耶馬溪町山移地区の地籍調査



# 1. 令和8年度一般会計予算補正額 予算額490億4663万円 (前年度比15億9437万円、3.4%増)

## 《新規・拡充事業（抜粋）》

### □カスタマーハラスメント対策事業；58万円

- ・ 弁護士初回相談に係る経費への補助、カスタマーハラスメント防止啓発チラシの配布、カスタマーハラスメント対策講演会の実施、相談窓口職員の養成を行う。

### □通信機器設置委託料 ；983万円

- ・ 本庁舎及び各支所の通信設備（電話）に音声ガイダンス付き録音機能の追加を行う。

そのクレーム、やりすぎていませんか？



暴力、暴言、土下座の強要…

## □コミュニティバス運行事業；8391万円

(内国庫補助金587万円、県補助金880万円)

- 三保線（中津駅～市民病院～洞ノ上～北原東～市民病院～中津駅）
- 豊前中津線（豊前市役所～吉富町役場前～ゆめタウン前～市民病院）

• 三光地域；西秣線、深水・小袋乗合タクシー

• 本耶馬溪地域；屋形線、東谷線、西谷線

【新規】午後便にデマンド交通を運行

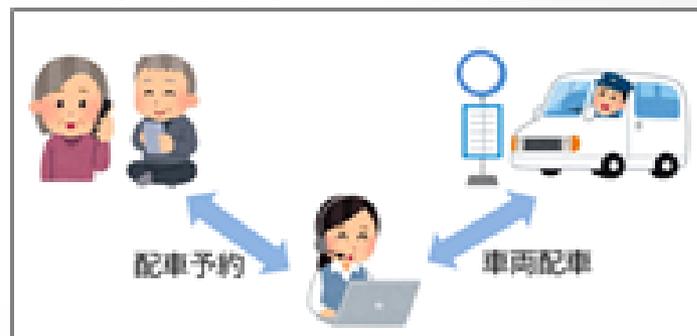
• 耶馬溪地域；山移南線、深耶馬東線、山移北線 外10線

【新規】朝・夕のコミュニティバス運行を除く日中の時間帯にデマンド交通を運行

• 山国地域；全域にデマンド交通（会員制予約型乗り合いタクシー）を運行



山国町デマンド交通



## □中津駅周辺防犯カメラ設置事業；255万円

- 犯罪の抑止と発生時の活用による早期解決を目的に、中津駅北側(3台)・南側(3台)、中津駅駐輪場(8台)に防犯カメラ(14台)を設置する。

## □家庭用防犯カメラ設置費補助金；270万円

(内国庫補助金240万円、県補助金30万円)

- 防犯カメラを設置する各家庭に対し、設置費用の一部を補助する。
- 補助率2/3、補助金上限3万円×90件分



家庭用防犯カメラ

## □ふるさとなかつ応援寄附金推進事業；2億5000万円

(寄附金を充当)

- ・ふるさと納税の受付から返礼品発送に関する経費（寄付額の50%以内）
- ・返礼品の上限；寄付額の30%以内
- ・寄附金目標額：5億円
- ・令和7年度寄附額の見込み額；約3億5000万円

受入年度	件数	金額	活用年度
令和6年度	13,612件	258,118,000円	令和7年度
令和5年度	14,239件	246,242,000円	令和6年度
令和4年度	15,277件	241,747,000円	令和5年度
令和3年度	11,269件	194,040,000円	令和4年度
令和2年度	7,866件	143,330,000円	令和3年度
令和元年度	3,989件	68,846,000円	令和2年度

## □放課後児童クラブここのわ施設整備補助事業；5665万円 (内国庫補助金4721万円、県補助金472万円)

- ・小楠校区の放課後児童クラブの民間施設建替えに対して補助金を給付する。

※新1年生の増加や「菜の花児童クラブ」の閉鎖によって、さらなる待機児童が見込まれるため、建替によって児童クラブを1単位（45名）増設する。

### 事業概要

対象；ここのわ児童クラブ((福)小楠福祉会)

内容；定員45名→90名へ倍増(施設増改築)

立地；小楠小から徒歩2分(距離約100m)



## □児童育成支援拠点事業；2481万円

(内国庫補助金827万円、県補助金827万円)

- 養育環境等に課題を抱える家庭や学校に居場所のない児童等に対して、当該児童の居場所となる場を開設する。
- 児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行う。
- 送迎あり
- 社会福祉法人 清浄園（大貞）に委託
- 相談窓口；中津市こども家庭センター  
相談支援係 ☎0979-22-1103



こども第三の居場所  
「中津やわらぎ拠点」

## □物価高騰対策水道料金免除事業；1億2120万円

(内国庫補助金1億2120万円)

- ・物価高騰対策として、水道料金の基本料金（2か月分）の免除を行うため、水道事業会計へ補助する。

水道使用料早見表(1ヶ月の使用料)

種別	区分及び汚水量	金額	消費税・目安水量	請求金額
水道(一般)	基本料金 8 m <sup>3</sup> まで	1, 158 円	× 消費税10%	8m <sup>3</sup> 1, 273 円
超過料金 1 m <sup>3</sup> につき	8m <sup>3</sup> を超え 15m <sup>3</sup> まで	168 円	〃	15m <sup>3</sup> 2, 567 円
	15m <sup>3</sup> を超える部分	216 円	〃	—

## □水道施設整備事業；880万円（内県補助金440万円）

- ・小規模集落（山国町宇曾地区）における生活用水の水量不足を改善するため、水道施設の整備を行う。

## □中津上毛環境事務組合負担金；4658万円

- ・中津市と上毛町でごみの広域処理を行う一部事務組合「中津上毛環境事務組合」（R7年4月設立）に対する負担金
- ・職員給与（3名分）、循環型社会形成推進地域計画作成委託料など

事業内容	年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
基本計画策定、各種調査		→								
土地造成設計、造成工事			→							
施設整備設計、建設工事				→						
本稼働										→

※事業の進捗状況によってスケジュールが変更になる可能性があります。

## □LED照明買替支援事業；4769万円（内国庫補助金4769万円）

- ・LED照明への買い替えに対して補助金を交付する。
- ・補助率1/2、上限3万円×1,500件分

※2027年末に蛍光灯の製造が終了します。



LED照明

□下池永西大新田線外 1 線道路改良事業；2610万円  
(内国庫補助金1250万円)

- ・市民病院から県立工科短大にぬける道路改良工事、用地取得
- ・事業進捗率；約30%、用地取得率；約90%

□都市計画総務事業（県工事負担金）；5750万円

- ・外馬場錆矢堂線の整備にかかる県工事負担金
- ・令和9年度完成予定（牛神交差点から小楠小学校の間）

□宮永角木線街路事業；1億4260万円  
(内国庫補助金6100万円)

- ・不動産鑑定、道路改良工事、建物等補償費
- ・令和9年度完成予定



整備が進む宮永角木線

□地域振興施設（道の駅なかつ）整備事業；434万円

- ・道の駅なかつのトイレ修繕、
- ・キャッシュレス決済対応食券販売機の導入

□耶馬溪サイクリングターミナル整備事業；6460万円

- ・サイクリングターミナル機能を耶馬溪コミュニティセンターへ移転（R9年4月の予定）
- ・令和8年度：自転車保管庫（180台）の建築工事



□企業誘致事業；1億3500万円（内県補助金9000万円）

- ・三光臼木・諫山地区に新たな産業団地の整備を行う開発事業者に対し、県と共同で補助を行う。
- ・令和8年度：基本設計、用地測量、地形測量



▲三光臼木・諫山工業団地の航空写真（赤枠部分）

## □中津南高耶馬溪校寮整備事業；3900万円

(内国庫補助金1950万円)

- 耶馬溪校の全国募集に伴い、寮（20室）の整備を行う。
- 事業年度：令和8年度～令和9年度
- 令和8年度：スパーク耶馬溪解体工事、実施設計委託料
- 総事業費；約4億円



寮建設予定地



解体されるスパーク耶馬溪

## □小・中学校屋内運動場空調整備事業；5億6075万円

(内国庫補助金2億6371万円)

- 体育館に空調を設置し、児童・生徒の熱中症対策を図る。
- 設置校数：旧中津市内小学校11校、旧下毛中学校4校
- 空調にはGHP（ガスヒートポンプ）を採用、窓に遮熱フィルムの設置



城北中学校体育館の空調設備

- 小楠小学校校舎改修事業；850万円（内国庫補助金284万円）
- ・小楠小学校の支援を必要とする児童の増加に対応するため、特別支援教室の増設・改修工事を行う。



- 保育園等給食費無償化事業；7350万円  
（内国庫補助金7350万円）
- ・物価高騰対策として、保育所・認定こども園等の3歳児以上の給食費を無償とする。
  - ・児童1人あたり月額4,900円を上限に支援する。

## □学校給食提供支援補助金事業；2億3447万円

(内国庫補助金2億3447万円)

- 国の制度改正に伴う小学校給食費の負担軽減
- 国基準額：児童一人あたり月額5,200円

## □物価高騰対策学校給食提供支援補助金事業 ；2億948万円 (内国庫補助金2億948万円)

- 物価高騰対策として、小学生、中学生、幼稚園児の給食費をすべて無償とする。
- 小学生分 (国基準額を上回る額) ；5862万円
- 中学生分；1億4230万円
- 幼稚園園児分；857万円



令和8年4月より、中津市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校の給食費が無償となります。

### 3. 条例の制定・改正(抜粋)

#### □中津市カスタマーハラスメント防止条例の制定

- ・カスタマーハラスメントの防止に関し基本理念を定め、市、事業者等、就業者等、顧客等の責務を明らかにするとともに、カスタマーハラスメントの防止に関する施策に対して基本的な事項を定める。



#### □中津市消防団条例の一部改正

- ・近年の若年層の減少及び高齢化の進行により消防団員数の減少が続く中、地域の実情、消防組織の維持及び強化の観点から、消防団員の定員を減らす(1,481人⇒1,262人)とともに、定年年齢を延長(団員65歳以下、団長以上役職65歳以下⇒70歳以下)する。

#### □中津市長寿祝金条例の一部改正

- ・高齢化の進行に伴い、長寿祝金の受給資格及び支給金額を見直す。
- ・90歳2万円を廃止、100歳5万円⇒10万円



## 4. 人事

□中津市教育長 大下 洋志（おおじも ひろし）【新任】

満61歳 中津市大字鍋島在住



### 略歴

昭和62年3月 大分大学経済学部卒業

平成2年4月 中津市職員

平成26年4月 総務部総務課長

平成28年4月 市民病院事務部次長兼総務課長

平成29年4月 市民病院事務部長

平成31年4月 教育委員会教育次長（商工農林水産部長を歴任）

令和5年4月 総務部長

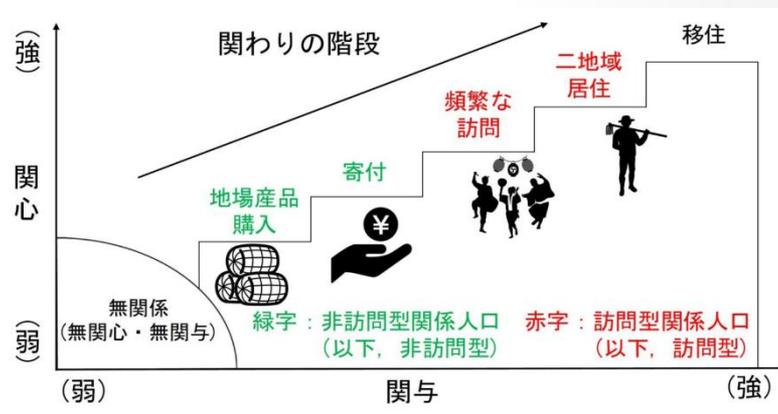
令和7年4月 役職定年により、教育委員会社会教育課付(福澤旧邸保存会館長) 現在に至る。

## 8. 自由討議

### (1) 多様な関わりを生み出す関係人口の拡大に向けた方向性について (補足説明者：大内直樹議員)

#### 【テーマ】

- ①観光から「関係」へ発展させる仕組み
- ②仕事・活動を通じた関係人口の可能性
- ③行政の役割と民間・個人の動きの支援
- ④関係人口を増やす上での課題
- ⑤ICT技術を用いた関係人口増



#### 【私の主張】

市の総合計画において、人口減少対策として「関係人口の創出・拡大」に注力し、市と多様に関わる人々を増やし、地域活性化と経済循環を目指すとしています。

しかし、関係人口にも特産品の購入からふるさと納税、頻繁な訪問、2地域居住まで、地域との関わり方などの段階があり、移住・定住に繋げるための手段として捉える必要があると考えます。

各段階の段階を上げていくためには、地域との関係性を高めていく仕掛けづくりが必要と考えます。

まずは、ふるさと納税の返礼品と一緒に観光パンフレットや生産者の手紙を入れることから始めてみませんか。

# “東日本大震災発生から 15 年 ～「あの日」に学び「あした」を守る～”

最大震度7を記録し、国内観測史上最大の津波も発生。死者1万5901人、行方不明者2519人という甚大な被害をもたらした東日本大震災から15年が経過しました。被災地では多くの復旧・復興のための取り組みが行われました。

しかし一方で、南海トラフ地震や首都直下地震など大規模災害のリスクは依然として高い状況にあります。

さらに、温暖化の進行に伴い、豪雨や洪水、土砂災害の激甚化は国内外で深刻化しており、防災・減災の重要性はますます高まっています。

災害大国の日本で暮らす以上、常に災害への対策を念頭に置いておく必要があります。「あの日」に学び「あした」を守るために、東日本大震災の教訓を踏まえた防災・減災対策の推進に向けて、取り組んで参ります。



震災直後の気仙沼市内の様子

中津市議会議員 大塚 正俊

## 編集後記（ひとりごと）

母校の北部小学校の卒業式に参列しました。卒業生は新型コロナ禍で迎えた入学式の翌日から約2か月間も休校となり、大変なこともたくさんあったと思います。しかし、コロナに負けず元気で健やかに成長してくれた姿に感動しました。（まさとし）